

大型児童館の機能・役割等について

令和8年9月

新たな大型児童館のコンセプト（案）

背景等

- 少子化の進行や地域におけるつながりの希薄化等により、体験格差の拡大や交流機会の減少など、子どもが抱える課題は一層多様化・複雑化しており、これに対応するための機能強化が必要
- 若者の県外流出に歯止めを掛けるためには、郷土への誇りや愛着を幼少期から育み、山口県で活躍したい、山口県の未来に貢献したいという気持ちを持つ子どもたちを育成していくことが重要
- 取組の推進に当たっては、市町はもとより、官民による連携・協働や情報共有等の強化が不可欠であり、これに向けた総合的・広域的なコーディネート機能の充実が求められるところ

コンセプト

子どもたちの夢が山口県の未来とつながる“サード・プレイス”

－ 山口県の未来を創る子どもたちの豊かな心と生きる力の育成 －

- 幅広い世代等の多様な子どもたちが、子ども同士で、親子・家族で、あるいは大人と活動を共にする中で創造的な交流ができる、子どもたちにとっての新たな“サード・プレイス（第3の居場所）”を創出し、山口県の特色や地域資源も活かした様々な遊び・体験・学びを通して、子どもたちの豊かな心と生きる力、未来への夢を育むとともに、ふるさと山口への誇りと愛着を高める。
- さらに、県内児童館の中核機能を担う拠点として、取組を広く県内へ波及させ、官民による連携・協働の下、本県の未来を創る子どもたちの健全育成と新たな時代に向けた人づくりを、全県的に推進する。

新たな大型児童館の機能・役割（案）

機能・役割の4つの柱

子どもの遊び・体験・交流機能

● 創造的な遊び・体験・学びの機会の提供



大型児童館ならではの大きさや開放感の中で、**本県**の特色も活かした創造的な遊び・体験・学びの機会を提供

● 「こどもまんなか」で多様な交流の場の創出



子どもを中心に、多様な人々が世代を超えてつながるインクルーシブな交流の場を創出

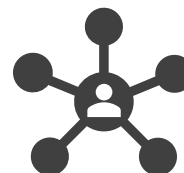
・新たな遊び・体験
・子どもの声
・支援ニーズ



県内全域へ
共有・展開

総合的・広域的拠点機能

● 県内児童館の中核機能を担う拠点



県内児童館の中核拠点として、運営面での指導や取組の横展開、連携事業の実施、関係人材の育成を推進

● 子ども・子育て支援の連携拠点



子ども・子育て支援機関や関係団体等との連携・協働を促進し、子ども・子育て支援ネットワークを充実強化

- ・ 大型児童館ならではの遊び・体験・学びの機会を提供し、広域から多くの利用者を惹きつけることにより、多様な人々が世代を超えてつながる場を創出する。
- ・ そこから得られた遊び・体験のノウハウや把握した子育て支援に関するニーズ等を、県内全域へ共有・展開し、地域における子ども・子育て支援の充実につなげ、子どもたちの健全育成と本県が目指す人づくりの取組を全県的に推進する。



機能等の概要

大型児童館ならではの規模の大きさや開放感の中で、本県の特徴や地域資源も積極的に活かした、創造的で質の高い遊び・体験・学びの機会を提供し、子どもの発達の増進と郷土に対する意識の深化を図る。

取組の方向性

- ・ 天候や季節に左右されることなく利用できる、大型児童館ならではの**大規模な屋内遊具**の導入や、**保護者を含む幅広い世代にとって魅力のある空間づくり**の実施
- ・ 文化芸術、科学・宇宙、デジタル技術等の**多様な分野に実際に触れ、体験する機会**や、専門家等による**実演・指導など本物に接する機会**の提供
- ・ **民間企業や大学等との連携・協働**による、産業や自然、歴史文化など**本県の様々な魅力に触れる特色ある展示・体験プログラム**の実施
- ・ 子どもたちが企画から準備、運営まで**自ら考え挑戦し、活動できるプログラム**や、**児童館づくりに主体的に参画できる取組**の実施

(他施設取組例)



屋内大型遊具(ギャラクシティ(足立区こども未来創造館))



プラネタリウム(コジマ子どもサイエンスパーク(栃木県子ども総合科学館))

期待される効果

◎ 知的好奇心や創造性の育成

◎ 郷土への誇りや愛着の醸成

◎ 自信と挑戦意欲の向上



機能等の概要

子どもを中心に、多様な人々が世代を超えてつながるとともに、誰もが安心して過ごすことのできる、インクルーシブな交流の場を創出する。

取組の方向性

- ・ 子どもの年齢や発達段階に応じて安心・快適に過ごせる交流スペース、安心して自由に過ごすことのできるフリースペースや学習スペースの提供
- ・ 中・高校生世代までの幅広い年齢の子どもが、共通の趣味や興味でつながる仲間と共に、主体的かつ自由に取り組む文化芸術の活動スペース及び発表の場の提供
- ・ 障害の有無や年齢、個々の特性等にかかわらず、多様な人々が参加できる遊びや交流のプログラム等の実施
- ・ 大学生やボランティア団体等の多様な主体との協働による、イベントやワークショップ等の企画・実施

(他施設取組例)



遊びのプログラム(愛知県児童総合センター)



音楽スタジオ(こまきこども未来館(愛知県小牧市))

期待される効果

◎ 社会性・協調性の育成

◎ 自己表現力の向上

◎ 自己肯定感や多様性を尊重する価値観の醸成



機能等の概要

県内児童館のネットワークの中核拠点として、運営面での指導及び連絡調整、各児童館への取組の横展開や連携事業の実施、関係人材の育成などを推進し、県全体における子どもの健全育成機能を強化する。

取組の方向性

- ・ 様々な環境変化や技術革新の中で、子どもの遊び方も大きく変化していることを踏まえ、**将来的な子どもたちのニーズも見据えた新しい遊びのプログラムの開発・普及**
- ・ 大型児童館が県内の各児童館や公民館等に出向いて行う、遊び・体験の場の提供（**移動児童館の実施**）
- ・ 児童館連絡協議会等を通じた児童館同士の情報交換・共有の促進や、**児童館館長・児童厚生員など関係職員に対する研修等の実施**
- ・ 災害時において被災した子どもたちをケアするための遊びのプログラムの開発と、提供に係る広域的な支援

（他施設取組例）



移動児童館車両（愛知県児童総合センター）

愛知県児童館連絡協議会 研修・ブロック会
（愛知県児童総合センター）

期待される効果

◎ 県内児童館の支援水準の向上

◎ 地域による支援差の縮小

◎ 児童厚生員等の専門性の向上



機能等の概要

子ども・子育て支援機関や支援団体、地域活動団体等をつなぐ拠点として、関係する主体間での連携・協働を促進し、子どもや子育て家庭に対する支援ネットワークの充実強化を図る。

取組の方向性

- ・ 不登校、ひきこもり、発達に特性のある子どもなど、多様な支援ニーズを有する子どもや子育て家庭に対する**関係機関と連携した相談支援や、適切な支援機関への橋渡し**
- ・ 子育て支援団体や地域活動団体等を対象とした**研修会や、相互交流活動**の実施
- ・ 保育士など子育て支援に関わる人材の育成機能の充実に向けた、**実習や研修のための環境の確保**
- ・ **大型児童館と子ども・子育て支援機関等との連携による啓発事業等**の実施
- ・ **県内の子どもたちの意見の聴取・発信、県内の子ども・子育て支援情報の発信**

(他施設取組例)

子育て支援者又は子育て支援のボランティア研修
(愛知県児童総合センター)

期待される効果

施設整備方針のポイント（案）

- 気象状況にかかわらず、利用者が遊びや体験を十分に楽しむことができる屋内機能
- 幼児や児童だけでなく、中・高校生世代にとっての新たな居場所・交流・活動の場づくり
- 郷土のことをもっと知り、山口県人としてのアイデンティティの確立につながる施設内容

【整備案】 新たな大型児童館の象徴的な施設内容として、プラネタリウムを一層充実

本県には、日本最大となるKDDIの衛星通信施設や、JAXA西日本衛星防災利用研究センター等が立地し、宇宙産業も発展中

➡ 宇宙をテーマとしたプラネタリウム・プログラムや関連展示等による学びを入口に、“**山口は宇宙とつながる場所**”であることを知り、理解を深め、本県を舞台に宇宙に関わるような仕事を志す多くの子どもたちを育成

- 県内における他の児童厚生施設や子ども向け体験学習施設等との機能・役割の分担と連携
- 子どもの健全育成や子育て支援に係る関係団体等の活動拠点及び情報交換・情報発信の場づくり
- 子どもを対象とした様々な分野にわたる施策の実証・実践・普及の場づくり

施設内容のイメージ（案）

※画像は、各諸室・設備のイメージを示すために生成AIを用いて作成したものであり、今後の設計内容を示すものではありません。

子どもの遊び・体験・交流機能

● プラネタリウム

新たな大型児童館の象徴となる施設



● 多目的ホール

場所を大きく使う遊びや文化芸術活動の発表等を行う空間



● 大型屋内遊具・広場

斜面や起伏、ネット遊具等による立体的な遊びの空間



● 乳幼児用スペース

発達に応じた遊具や絵本コーナーを設置した乳幼児が安心して遊べる空間



● ワークショップ スペース

机を使って各種プログラムを行う空間



● 飲食スペース

親子で飲食や休憩ができる空間



中・高校生世代向け

● フリースペース

自由に活動や交流を行う空間（eスポーツ、ボードゲーム等）



● 音楽・ダンス スタジオ

楽器や音響設備、鏡等を備えた防音室



● 自習スペース

静かに勉強や読書にいそしむ空間



総合的・広域的拠点機能

● 子育て相談・ 情報発信スペース

子育て相談や各団体等の情報発信・啓発スペース



● 研修室・会議室

子育て関係人材の育成や関係団体の連携強化のための研修・会議スペース



● 移動児童館車両

大型児童館の遊びや体験を県内各地に届ける車両



その他の検討事項及び対応の方向性（案）

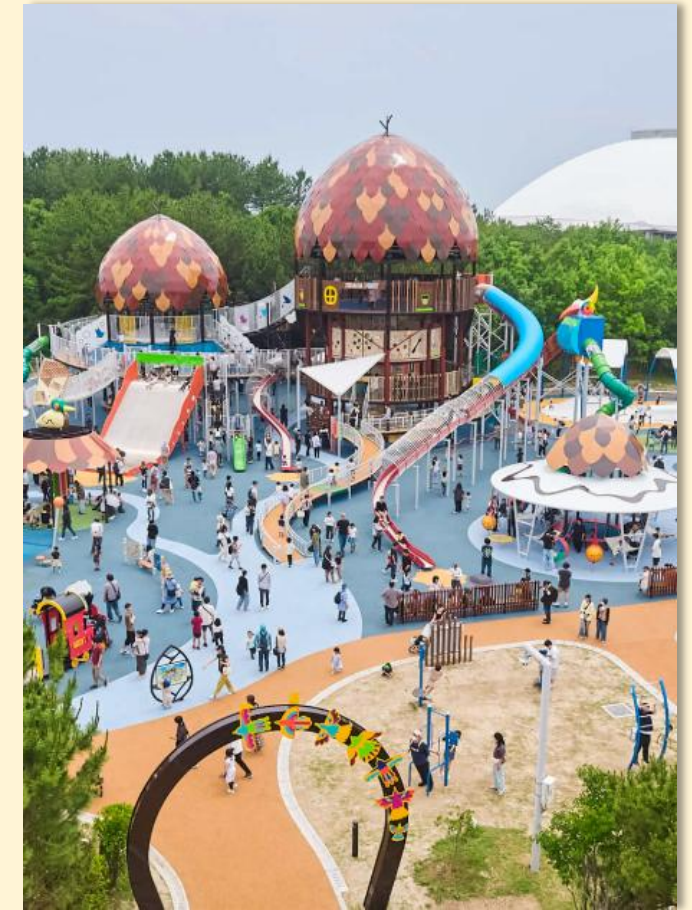
大型児童館の屋外機能について

検討事項

- 山口きらら博記念公園では、昨年6月、**大型複合遊具広場「きららんど」を整備**するとともに、今年7月には、同敷地内に**親水広場を設置**した。
- 今後も、主に未就学児を対象とした遊具広場や、アーバンスポーツ施設等の整備を予定しているところであり、大型児童館の整備に当たっては、**こうした状況や施設の役割の違いを踏まえた上で、施設機能の具体化を検討していく必要がある。**

対応の方向性

- 山口きらら博記念公園に大型屋外遊具等が設置されている状況を踏まえ、**大型児童館は、屋内機能を中心とした整備を基本**とする。
- 屋外空間については、大型遊具を中心とした空間ではなく、**子どもたちが自由に身体を動かして遊べる広場や、憩い・交流の場として活用できる空間の整備等**を検討する。



（山口きらら博記念公園「きららんど」）

子どもの意見の聴取について

検討事項

- ・ 児童館は子どもが利用する施設であることから、こども基本法及びこども大綱の理念を踏まえ、計画段階から**子どもの意見を聴取し、その視点やニーズを施設整備や運営に反映していく必要がある。**

対応の方向性

- ・ 今後、「**児童館や大型児童館でどのようなことがしたいか**」、「**どのような遊具や設備があったら良いか**」などについて、子どもたちから直接意見を聴取する。
- ・ 大型児童館の具体的な遊具や設備は、令和9年度に策定する「基本計画」において定める予定であることから、**当該計画の策定までに意見を聴取し、これを計画に反映する。**
- ・ 意見聴取の手法としては、本年度から開始する「こどもモニター事業」等を活用する。

(こどもモニター事業チラシ)